



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL072-261-1563
FAX072-261-1594

2018年11月号 (2018.10.28発行)

愛はすべてをおおう

スピノラ修道女会 Sr.佐藤英子



私たちの高校では卒業式の送別の言葉として1コリント13の1-7を生徒が朗読します。

聖パウロが書いた最も美しい「愛の賛歌」と言われている箇所です。

愛の賛歌を黙想する時に気になっている言葉が一つありました。4節～7節は他者への愛の働きについて書かれていますが、7節のすべてを「我慢し」のところです。「我慢」とは自分をえらく思い、他を軽んじること、忍耐して忍ぶこととあります。愛に関する句の中で、相手ではなく「私」が主体となるこの言葉はなにかこの文章の中でそぐわないものを感じました。興味が湧きましたので、幾つかの聖書の訳を調べてみました:「弁解し」、「忍び」、「辛抱し」、「こらえ」、「ゆるし」、「おおい」などがあり、カトリック典礼聖歌では「つつみ」と歌っています。ギリシャ語を知っていたら語源まで調べられ本当の意味に迫ることが出来るのですが、私はこれらの中で、「おおい」と「つつむ」が一番愛に、真実に迫っているように思えました。

最近ミサで読まれたエレミア書簡は次のようにいっています:「見よ、粘土が陶工の手の中にあるように、お前たちはわたしの手の中にある」。

陶工が造る器の形は違っていても、同じ粘土で造られている私たちですが、生活の中で他の器の傷、即ち、欠点や過ちを表面に取り出し暴き立てるのです。即ち、「悪口」です。それがあまりにも日常的であるために、教皇フランシスコは度々一般謁見の中でそのままの表現で口にされています:「私たちのキリスト教共同体で最も多い罪です」、「本当に、私はこのことで心の奥底まで痛みを感じています。まるで私たちが互いに石を投げ合っているようなものです」。

私たちは8月に平和について全世界のために共に祈り、考え、決心をしてきました。しかし平和は先ず、「わたし」と「あなた」から始まることなくして、存在することはあり得ません。陶工が器をやさしく包み込みながらろくろを回すように、他者に対する気遣い、他者から生きる愛、相手を主体として、相手の不足を「包みながら」、「おおいながら」・・・対することができたら、聖書が望む愛の内に生きることが出来るでしょう。

私たちの力だけでは愛すること、平和は難しい課題です。「愛」である御方、「平和」である御方、感謝の祭儀の中に秘跡的に現存される御方の助けが必要です。主こそ毎日私たち一人ひとりをおおい、包み込みながら、自分と他者を大切に、愛するよう働いておられるのですから。イエスのこの愛によってのみ、私たちは国籍、文化、性格を越えて互いを兄弟姉妹として認め合うことが出来るのですから。

“あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深い者となりなさい”。

(ルカ 6:36)

“Love Covers All Things”

At our high school, students recite the 1 Corinthians 13:1-7 in their farewell address.

It is otherwise called the “Hymn of Love”; the most beautiful passage written by the Apostle Paul.

Everytime I meditate on this verse, one of the words in the Hymn of Love has had me puzzled. Among the fourth through seventh verses that describe the workings of love for others, it is the seventh that says that “love bears all things”. “Bear” is a word that means: to accept, tolerate or endure something, especially something unpleasant. In this verse all about love, this word—that paints the self, and not the other, as the subject—has always seemed somewhat out of place to me. This piqued my interest, so I looked up several translations of the Bible. There were numerous versions such as: “puts up with”, “patiently accepts”, “suffers”, “endures”, “forgives”, “covers”; and the liturgical hymn has worded it “envelopes”. If only I had some understanding of Greek, I would have been able to trace the word to its origin and learn the true meaning, but as it was, “covers” and “envelopes” seemed to me the most fitting, and to ring the truest to love.

In the Book of Jeremiah—which was read in mass recently—it reads: “Look, as the clay is in the potter’s hand, so are **you** in My hand”. Though the pots the potter makes may come in all shapes and sizes, **we** are all made **from the same clay**. Yet in our everyday lives we expose and lay bare others’ marks and scratches; that is, their flaws and mistakes. In other words, we gossip. Because this is so prevalent in our everyday lives, Pope Francis often refers to it in his papal audiences as it is: “the sin that’s the most common in our Christian communities”, and that “it hurts my heart. It is as if we are throwing rocks at each other.”

Throughout August, we have prayed, pondered and resolved of peace for all the world. However, peace cannot be brought about unless it starts from “you” and “I”. Like a potter tenderly caressing his pot while turning his lathe, if we could be considerate, and live out our love for others, and place others’ needs over our own, “covering” and “enveloping” their shortcomings...we would be able to live and love as the Bible tells us to.

To love and to strive for peace is a difficult task by our power alone. What we need is the help from He who is “Love”, He who is “Peace”, and He who presents Himself in the sacrament of the celebration of the Eucharist. For the Lord Jesus is the one who covers each of us, and who works so that we may protect and love ourselves and others alike.

Only by Lord’s love we can transcend nationality, culture, and character, and accept each other as brother and sister.

“Be merciful, just as your Father is merciful” (Luke 6:36)



<受洗おめでとうございます>・・・ミズノ・ナオト・サムエル くん(10ヵ月) 10月14日



神様の恵みを受けて、
健やかに成長されますように、
お祈りしています。



＜世界宣教の日(地区大会)＞・・・ 10月7日(日) 泉佐野教会

暑過ぎる・・・秋晴れの下、岸和田地区の9教会が一堂に会し、世界の平和と宣教の大切さを、心を合わせて祈り、学びました。ミサは、聖書朗読・共同祈願・奉納と、各国の代表が奉仕して下さいました。



4人の若者による貴重な体験談にて、

インド・カンボジアの国民の貧富の差、生活状況の悪さを、改めて聞き、今まで、身近に感じとれていなかったことを反省し、そのような環境下でも、夢を持って生活している子供たちのために力を与えたいと思いました。

言葉も不十分な外国で生活する大変さを、普段から察してあげていたかな？と、考えさせられました。

一般外国人だけではなく、世界各国で働かれている宣教師・修道者の方々のためにも、平和を祈り、これから日本人として、どう向き合えばよいのか、何をしたらよいのかを考え、実行にうつしたいと思います。

トアン君は、かなり緊張したそうで、いくつかのエピソードを言い忘れたとのこと。でも、堂々としており、歌も歌ってくれて、日本で頑張っている様子が、よく伝わってきました。

午後には、ぶどうの木・フィリピン・ペルー共同体の合唱、色鮮やかな衣装に身を包んでの、パワーにあふれ、且つ、おもしろいダンスに幼稚園ホールは大盛り上がり。その後、園庭での地区対抗玉入れでは、「内側の線の中には入らないで！」の日本語が通じていないハプニングも有りつつ、各1勝1敗で3地区引き分けとなり、楽しい一日でした。最後に「アーメン・ハレルヤ」を歌って、閉会しました。 たくさんの皆様、お疲れ様でした。！！



ベトナム青年は
玉入れ初体験



＜浦上キリシタン墓地・巡礼バス旅行(いずみブロックと一緒に考える日) 10月8日＞

1867年、肥前の国、浦上村キリシタンは、仏式による死者の埋葬を拒否し、幕府の宗教政策に反対の態度を表明しました。これは、**信仰の自由を要求すること**を意味しています。(信者たちは、表面、仏寺に籍を置いていました)。このことから、段々と事件は大きくなり、遂に総数 2810 人が捕えられ、各藩に罪人として送られたのです。1869年、和歌山にも 281 人が流されました。日方の塩田、太田八丁の馬小屋などにわかれ、厳しい生活・重労働を強いられました。1873年、遂に「宗教の自由」が許され、帰国できることになりました。大阪から大きな汽船で、長崎に帰り着いたのは、**52人**でした。



禅林寺は、キリシタンの埋葬地の一つだったことから、記念碑がたてられました。当時の、目撃者がなんと保呂さんのご先祖の方でした！！「**深堀きく**」さんの墓は、故郷に帰れぬまま亡くなった母の為に、後に息子が、長崎の方向の西に向けて建てました。



時が経ち、手入れも行き届かず、かろうじて、刻まれた「+」「長崎」が、読み取れました。多くの殉教者のおかげで、私たちが神様と出会えたことに、感謝します。その信仰を、後世に、多くの人々に、繋いでいかねばなりませんね。Sr.田村の力のこもった声に、奮い立たされた時間でした。その後、**和歌山城**や**紀伊風土記の丘博物館**を見学し、楽しいバス旅行を終えました。



台風が来なくてよかったです！！

＜お知らせ＞

- ※11月23日(金・祝) 11時 ... ガルー アルジャンタ プアン神学生の**助祭叙階式** 岸和田教会
「祈りの花束」を作ります。たくさんのお祈りをお願いいたします。用紙は聖堂に有ります。
- ※ **待降節黙想会**・・・12月2日(日) 岸和田教会 「今の時代を目覚めて生きる イエスとともに」
11時15分～16時 当日の小教区ミサ・・・岸和田 10時 **浜寺・和泉** 9時
指導司祭 : Fr.中川博道(カルメル修道会)
弁当・・・¥500 (しめ切り 11/25) (後日、詳しくお知らせします)

※11月18日(日)・・・「七五三のお祈り」をします。たくさんのお子さんのご参加をお待ちします。

※ 11月18日～25日・・・「聖書週間」 聖書を読みましょう！！

11月の主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
3日(土曜)死者追悼ミサ	村田	カルロス	
4日 年間第31主日	ベスコ	カルロス(評議会) インターナショナルミサ	9:00 村田 バザー
11日 年間第32主日	カルロス(評議会) 11:00 ポ語 カルロス	ベスコ	村田 (評議会)
18日 年間第33主日	ベスコ	カルロス 14:00 カルロス(英語)	村田
25日 王であるキリスト	村田	ベスコ	カルロス 15:00 村田(英語)



◇毎週土曜日 19:30 主日前晩のミサ(和泉) 3日(土)のみ・・・18:00 主日前晩のミサ(岸和田)

◇平日のミサ

浜寺： 火曜日(毎週) …9:00 和泉： 月曜日(毎週) …19:00
 木曜日(第2, 4)…9:00 金曜日(毎月第1)…9:30
 金曜日(毎月第1)…9:30 岸和田： 木曜日(毎週)… 9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日…11:00(浜寺)

◇英語ミサ 毎月第3日曜日…14:00(和泉) 毎月第4日曜日…15:00(岸和田)

◇インターナショナル ミサ 毎月第1日曜…9:30 (和泉) (岸和田)…今月はなし

11月の各種集いの案内

- ◇ 聖書の分かち合い(Fr.村田) …… 第1, 3金曜日 19:00 : 浜寺教会
- ◇ 聖書の分かち合い(Fr.カルロス) … 第2, 4木曜日 ミサ後 : 浜寺教会
- ◇ キリスト教講座(Fr.カルロス) …… 第1, 3土曜日 13:00 : 岸和田教会
- ◇ 「聖書 100 週間で読む」集い(Sr.ルイザ) ……毎週土曜日 14:30 : 和泉教会
- ◇ キリスト教の勉強会(Fr.カルロス) …… 第2, 4金曜日 19:30 : 和泉教会 (23日はお休み)
- ◇ 勉強会 (Fr.カルロス) …… 第2, 4水曜日 19:30 : 浜寺教会

11月の奉仕者当番表 典礼奉仕について都合の悪い方は必ず典礼委員までご連絡ください。

	先唱 聖体奉仕	子供侍者	第一朗読	第二朗読	名札受付 共同祈願	掃除当番	お茶当番
4日					広報	高石	高石
11日					評議会		泉大津①
18日					典礼	泉大津	堺③
25日					財務	堺	高石